

BUSAN
International Film Festival
釜山国際映画祭2024
正式出品

差し入れるのは、小さな希望。

刑務所や拘置所への
差入を代行する「差入屋」

かねこさしいてん

金子差入店

丸山隆平

真木よう子 / 三浦綺羅 川口真奈
北村匠海 村川絵梨 甲本雅裕 根岸季衣
岸谷五朗 名取裕子
寺尾聰

監督・脚本：古川豪 音楽：Benjamin Bedoussac

主題歌：SUPER BEAVER「まなざし」(ソニー・ミュージックレーベルズ)

製作：英田理志 小山洋平 中村浩子 鶴見智恵 プロデューサー：船橋和久 成瀬寛樹 半園裕子 共同プロデューサー：石田雄治 企画協力：山崎真五
撮影：江崎朋生(S.C.) 照明：三喜晃登 録音：原川眞平 美術：金静浩 装飾：鈴木正 スタイリスト：松田英彦 ヘアメイク：田中健志 特殊メイク：松岡徹一郎 音響効果：大塚智子 編集：小西智香
VFXプロデューサー：長井由実 アクション・コーディネーター：諸嶋浩和太 助監督：小波はな 脚本監修：塚井克一 ラインプロデューサー：石渡史樹 音楽プロデューサー：仲安貴彦
製作：REMOW 博報堂DY(ミュージックビタチャーズ ストームレーベルズ) ハピネット・メディア・エンターテインメント 制作プロダクション：KAIKAWA 配給：ショークート ©2025「金子差入店」製作委員会

息子の幼馴染を殺した男への差入、母親を殺した男との面会を望む少女
激しく揺れる差入店の日々を追いかける、感動のヒューマンサスペンス

5.16 Fri.



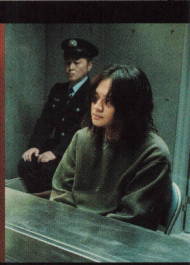
今この時代にこそ放つ 魂を震わせる 感動のヒューマンサスペンス

刑務所や拘置所に
収容された人への
差入を代行する「**差入屋**」
あやまちの数だけ希望を届ける、
何度つまずいても
立ち上がれると信じて――

厳しい審査や検問がある差入のルールを熟知した差入屋。様々な事情から面会に行くことができない人たちに代わって、面会室へ向くこともある仕事だ。そんな差入店を営む家族の絆と、彼らが巻き込まれる不可解な事件を描く、ヒューマンサスペンスが誕生した。差入店の店主を務める主人公の金子には、『泥棒役者』以来8年ぶりの主演を演じる丸山隆平。共演は、真木よう子、三浦綺羅、川口真奈、北村匠海、村川絵梨、甲本雅裕、根岸季衣、岸谷五朗、名取裕子、寺尾聰。監督はオリジナル脚本も手掛けた期待の新鋭、古川豪。主題歌は古川監督が助監督を務めた『東京リベンジャーズ』シリーズで結んだ友情からオファーされたSUPER BEAVERの「まなざし」。この混迷の時代を懸命に生きる者たちへの熱い想いが込められた歌詞が心に響く。罪を犯した人々や、その家族に対峙する金子。そこには不可解な事件があり、謎が渦巻き、胸を締め付けるドラマがある。誰も観たことのない設定で、人間の可笑しさと切なさ、ダークサイドから希望に満ちた光までを追いかける感動のヒューマンサスペンス。



STORY
金子真司は妻の美和子と差入店を営んでいる。伯父の星田から引き継いだ住居兼店舗で、引退した星田と10歳になる息子の和真と一緒に暮らしていた。ある日、和真の幼馴染の花梨が何の関係もない男に殺害される。一家が花梨の死から立ち直れないでいた時、犯人の小島の母親から差入の代行と手紙の代読を依頼される。金子は差入屋としての仕事を淡々とこなそうとするが、常軌を逸した小島の対応に感情を激しく揺さぶられる。さらに、小島の母親から息子には話し相手が必要だと思うと再度の差入を頼まれた金子は、小島と話せば話すほど「なぜ、何のために殺したのか」という疑問と怒りに身を焼かれる。そんな時、毎日のように拘置所を訪れる女子高生と出会う金子。彼女はなぜか自分の母親を殺した男との面会を強く求めている。2つの事件と向き合ううちに、金子の過去が周囲に露となり、家族の絆を揺るがしていく――。



5.16 Fri. Roadshow

©2025「金子差入店」製作委員会

映画公式HPはコチラ

kanekosashiireten.jp

